

# ー南海地震の初期対応についてー

## 1 緊急地震速報

地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して、震源やマグニチュードを推定し、主要動到達時刻や震度を可能な限り、早く知らせる情報である。

総合科学部:2011年3月より導入(ただし、2号館は放送設備が設置されていないため、FMラジオ局から放送される緊急地震速報を大音量で知らせる機能をつけた「緊急地震速報機」を設置)

**ピュンピュンピュン。地震がきます。Earthquake.**

気象庁より緊急地震速報が送られると左記のような音声流れます。  
南海地震の場合、この音声を聞いてから**18秒で初期微動**、  
**31秒後に大きな揺れに襲われ4分程度続きます。**

## 2 地震発生時の基本行動

出入口の確保

セーフティゾーンへ移動

安全姿勢

### 緊急地震速報を聞いたときの基本行動

- ① 講義室, 実験室, 研究室などでは出入り口を開ける
- ② 頭上, 周辺に倒れてくるもの, その他蛍光灯や窓ガラスなどの割れ物がなく, 自分のいる場所から数メートル以内の安全な場所
- ③ しゃがんで頭を守る

## 3 地震後の基本行動

1. 携帯電話、ワンセグなどで地震の情報を集める。
2. 南海地震であれば津波がくるので、揺れがおさまったら**避難**を始める。
3. 常三島キャンパスで予想される津波は、道路から4mの高さにも達することが予想される。  
徳島市に津波が来るまでに**40分の余裕**がある。
4. 建物から**火**が出た場合は、速やかに他の高い建物へ逃げる。
5. 津波は第一波よりも、第二波、第三波が高いことがある。大津波警報が解除されるまで、絶対に降りてはいけない。  
津波に襲われた場合は**1日から2日**、建物にとどまることになる可能性が高い。